

造形・意匠 (A 専門科目)

=====

科目名:

造形・意匠 (英文科目名: ArchitectureForm)

2単位 建築学科3年 通年 講義

担当教官:

尾立弘史(居室:建築学科棟2階) Email:oryu@oyama-ct.ac.jp

授業目的:

前期は、主に図面の表現方法について講義する。後期は建築設計 とあわせて授業を行うので建築設計 参照のこと。

達成目標:

教科書:

コンパクト建築設計資料集成

参考書:

各種建築・デザイン関連雑誌

学習方法:

予習-

授業-前期は講義が中心であるがスライドやOHPにて図面を提示しながら行うことが多い。後期は設計 とあわせて授業を行う

復習-

学習保証時間:

100分[時間/週]×15[週/前期]+100分[時間/週]×15[週/後期]=50.0時間/年

キーワード:

寸法、生活、住宅、集合住宅

授業内容:

前期;建築計画 と講義内容が入れ替わることがある

- 1、設計のプロセス・・・・・・・・・・1週
- 2、寸法の計画・・・・・・・・・・2週
- 3、規模の計画・・・・・・・・・・2週
- 4、架構とシェルター・・・・・・・・・・2週
- 5、風土と建築・・・・・・・・・・2週
- 6、室内環境の計画・・・・・・・・・・2週
- 7、すみ手参加の計画・・・・・・・・・・1週
- 8、避難の計画・・・・・・・・・・2週

後期;「建築設計」と併せて授業を行う

- 1、住宅作品の収集・・・・・・・・・・2週
- 2、小住宅の設計・演習・・・・・・・・・・3週
- 3、課題説明(木造独立住宅)・・・・・・・・・・1週
- 4、木造住宅平面詳細図の演習・・・・・・・・・・1週
- 5、木造独立住宅のエスキス
(平面、立断面、断面詳細)・・・・・・・・・・3週

6、木造独立住宅の設計・・・・・・・・・・・・・・ 4 週

7、模型制作・・・・・・・・・・・・・・ 1 週

授業方法：

カリキュラム中の位置づけ：

建築設計 を補足して各種の製図方法や図法を理解する。また、建築計画 を補足し、計画にまつわる周辺の事項を概説し、建築空間に興味を持たせる。

この科目を学ぶために先行して理解する必要のある科目

図学、建築製図 1

この科目と同時に学ぶ関連科目

建築計画 1、建築設計 1

この科目の後に学ぶ関連科目

建築計画（4 年通年） 建築設計（3 年通年） 建築設計（4 年通年） 卒業設計

評価方法：

前期は試験とレポートによる。後期は提出作品の内容と出席状況によって行う。定期試験は行わない。

連絡事項：

学生へのメッセージ：

できるだけ多くの建築雑誌やデザイン雑誌を見て読んで欲しい。そのことが、優れた独創的なアイデアのヒントになるのだから。

=====